

報 告

近畿病院図書室協議会第 135 回研修会 参加記

浅井 裕子

第 135 回研修会は、申込締切日を待つことなく申込受付が終了されるほどで、私だけでなく皆さまにとってもとても関心のある研修会内容であることが伺えました。

午前中に文献検索データベースや電子ジャーナルを取り扱う企業の方からのプロダクトレビューがありました。今年（2015 年）の雑誌の契約は終了していましたが、雑誌のオンライン化や各種データベースの動向などが参考になりました。

午後は今回の研修で私が最も行いたかった『PubMed LinkOut』の設定の講義から始まりました。英語が苦手で、パソコン操作も苦手なため、LinkOut の設定をしなければと思いつつ今日までせずにきてしまっていました。“はじめての”とプログラムにあったとおり、まだ PubMed LinkOut を設定していない方を対象とした講義で、とても親切でわかりやすい内容でした。

LinkOut 設定講義の参加者は、会員用 SNS の近図雲で「第 135 回研修会『はじめての PubMed LinkOut』事前準備」コミュニティに参加していました。参加者は、そこでアカウントの入手から始まり、アイコンの作成、冊子の所蔵登録、アイコンの設定と、ステップごとに親切・丁寧な解説に導かれて作業を進めることができたのではないのでしょうか。コミュニティ参加者の足並みを伺いつつ進められ、操作手順を添付の

PDF ファイルで確認することができ心強かったです。

その後、PubMed（上級編）、医中誌 Web（中級編）の講義が続きました。

PubMed（上級編）では、自動用語マッピング機能や MeSH 検索、EBM の流れの中の文献検索などについて講義していただきました。上級編とあって、普段 PubMed は確認用にしか使用していない私にとってはかなり難しく、検索結果も常にどこかが違っていたという状況でした。以前に受けた初級編の講義で、MeSH のカテゴリーや階層構造、MeSH Browser から MeSH 用語に関する詳細な情報が参照できることや、PICO (PECO) を使った検索の練習などを行ったことまでは思い出しましたが、それ以上は思い出せずこれから過去の研修会資料を探して確認しようと思っています。

医中誌 Web（中級編）では、演習を交えながら項目を指定した検索、絞り込み、特定の雑誌に掲載された論文の検索、シソーラスや副標目を使った検索などを講義していただきました。

今回の研修会は私にとっては知恵熱が出るほどの高レベルで大変でしたが、研修部の皆さま（特に藤原様）、そして今回の研修会に参加された皆さまに助けられながら 1 日を過ごせたことに、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。